

## 令和 7 年度 第 2 回宮城支部評議会の概要報告

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開 催 日 時            | 令和 7 年 10 月 24 日（金）15：00～17：00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 開 催 場 所            | 全国健康保険協会 宮城支部 会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 出 席 評 議 員          | 赤間評議員、阿部評議員（議長）、小田島評議員、佐藤評議員、高野評議員、沼口評議員、桃井評議員、門間評議員<br>（五十音順）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 議 題                | <p>1. 令和 8 年度 平均保険料率について</p> <p>2. 令和 8 年度 支部事業計画及び保険者機能強化予算策定のための現状評価・課題・重点施策について</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 議 事 概 要<br>（主な意見等） | <p>◆事務局より、各議題について説明。</p> <p>◆各評議員より、各議題内容に関してご意見をいただいた。</p> <p>1. 令和 8 年度 平均保険料率について</p> <p>【事業主代表】</p> <p>平均保険料率 10%維持はやむを得ないが、事業主の立場からすると、この厳しい状況の中、社会保険料負担を少なくして欲しいというのが本音である。本年 10 月 21 日に高市内閣が発足し、手取りを増やし家計の負担を減らす様々な経済対策が行われる流れとなっている。その対策の中に社会保険料負担軽減を含めた政策も加わることに期待している。</p> <p>【事務局】</p> <p>国の動きなども注視し、医療費を下げるための分析をしながら医療費適正化や各種保健事業に取り組むことで、保険料負担軽減を図ってまいりたい。</p> <p>【事業主代表】</p> <p>中小企業では、人材確保や最低賃金引き上げなどもあり、苦勞しながら賃上げを行なっている。しかし、せっかく賃上げしても標準報酬月額が上がり、手取りがあまり増えずに労使共に負担だけが増えるという声が多く聞こえるようになってきた。また、ニュースなどでよく「今月の倒産件数は〇件」などと発表されるが、それに表れてこない「廃業」という数字があり、県内の商工会の会員企業だけで見ても年々この数字が増加している状況である。料率は同じでも負担が大きくなっているものであり、これ以上の負担が増えることに強い不安を感じている。</p> <p>【被保険者代表】</p> <p>加入者が保険料を出し合い、実際に病気や怪我になった際の医療費の支払いに充てるのが医療保険制度の基本であると考えているが、協会けんぽや健保組合は支出の 3 割程度が加入者で</p> |

はなく高齢者などのための支援金に充てられている。この仕組みで医療保険制度が上手く運営できていれば良いが、当該支援金の負担の影響で赤字になったり、解散したりしている健保組合も出てきているため、当該支援金などのあり方を考えて行かなくてはいけないのではないかと感じる。これだけ準備金があってもいずれは枯渇するため、平均保険料率 10%を出来る限り長く維持していくため、様々な取り組みを進めてほしい。また、保険料率変更時期については 4 月納付分からで問題ないが、子ども子育て支援金の納付と混同されないように、十分に周知広報などを行なってほしい。

**【事務局】**

国庫補助率引き上げ要請なども含めて、平均保険料率 10%を出来るだけ長く維持していけるように必要な取り組みを行なってまいりたい。なお、今回初めてソルベンシーマージン比率という指標を用いて生損保等との準備金比較を行なった資料をお示ししたが、事前説明の際にも皆様から肯定的なご意見を多くいただき感謝申し上げる。

**【被保険者代表】**

物価高など、この厳しい状況の中、負担は少なければ少ないほど良いが、もし平均保険料率を引き下げて、数年後にまた引き上げるといった場合に患者負担が 3 割から 4 割に増えるといった事態に陥る可能性はあるのか。

**【事務局】**

資料にもあるように過去の保険料率などの推移を見ると、料率を下げるタイミングで国庫補助率が引き下げられたり、その後に患者負担が引き上げられたりしているため、そのようになる可能性は否定できない。

**【被保険者代表】**

平均保険料率 10%を出来るだけ長く維持してほしいと考えており、そのためには病気を未然に防ぐ施策を行い、その結果医療費も下がるという取り組みをしっかりと行なってほしい。

**【被保険者代表】**

法定準備金であるが、「1 か月分」という数字についてどのように考えているのか。

**【事務局】**

今回、参考としての域はでないが、ソルベンシーマージン比率を用いて生損保などとの比較を行ってお示ししている。現在の法定準備金の水準が適切なのかについては判断が難しいところだが、これからは「1 か月」という数字に囚われすぎず様々な切り口や観点から改めて総合的に検討していくことが必要ではないかと考えている。

**【被保険者代表】**

社会保険料は標準報酬月額表のそれぞれの等級に一律の料率をかけて算出するが、かける料率を等級に応じて変える累進課税のような仕組みにすることは可能なのか。

**【事務局】**

報酬の多い加入者等に、より多くの負担を強いることになるため納得感が得られるか、また実務上、管理が煩雑にならないかなど難しい問題もありそうだが、貴重なご意見として参考にさせていただきたい。

**【議長】**

宮城支部評議会の意見として、「平均保険料率 10%はできるだけ長く維持すること」、「保険料率の変更時期は 4 月納付分（3 月分）からとする」ことについて異論はないということでのろしいか。

→全会一致で承認。

2. 令和 8 年度 支部事業計画及び保険者機能強化予算策定のための現状評価・課題・重点施策について

**【学識経験者】**

歯周病が様々な病気を悪化させる要因の一つとされていると聞いたことがあるが、歯科の医療費が高い県は、医科の医療費が低いといった傾向はあるのか。

**【事務局】**

歯周病が生活習慣病などの様々な病気を悪化させる要因の一つとされているのはご指摘のとおりである。歯科と医科の医療費の関連性を表す資料が手元にないため、次回以降の評議会でご報告したい。

**【学識経験者】**

歯科健診は成人してからだとなかなか受ける機会がないが、宮城支部ではどのような取り組みを行っているのか。

**【事務局】**

協会けんぽ全体で被扶養者向けの特定健診を拡充する取り組みを進めており、宮城支部でもオプション検診に歯科健診を追加する方向で検討を進めている。なお、10 年以上前にも被扶養者向けの歯科健診を試験的に実施した実績があり、その際の事例も参考にしながら検討を進めていきたい。また、受診環境の整備や受診勧奨も含めた歯科医師会等への働きかけを、必要に応じて行っていきたい。

**【学識経験者】**

資料では各種工事業の医療費や生活習慣病リスクが高い状態となっているが、建設業の業界団体への働きかけは行っているのか。

**【事務局】**

これまでも県建設業協会などに継続して働きかけは行っているが、なかなか協力を得られていない状態である。ただ、これらの業態に健康課題があることは認識しており、警備業や道路貨物運送業などの業界団体との連携事業により得られた成功事例を携えて、今後も建設業の業界団体への働きかけを続けて行きたい。

**【事業主代表】**

昨年、糖尿病を発症した従業員が歯周病の治療を進めた結果、糖尿病の数値が改善したことから、歯の健康は重要だと考える。

**【事業主代表】**

建設現場では元請け（総合工事業）から委託を受けた下請け（職別工事業・設備工事業）が実際に工事を進めるので、職別工事業や設備工事業の業界団体にアプローチするとより効果的だと思われる。また、若い頃から喫煙や飲酒を行う従業員が多いため、若い世代へのアプローチが必要だと思われる。

**【事業主代表】**

今年、人間ドックを受診した際に受け取った特定保健指導の案内チラシについて、デザインや内容が良く工夫されており、非常に良かった。また、当社では役員が PET 検査を受けたところ、すい臓がんが見つかり早期発見・早期治療に繋がった。人間ドックに補助が出るのは非常に良い取り組みだと思う。

**【事務局】**

人間ドックの補助は重点施策であるため、現在、実施機関の拡充に向けて取り組んでいる。

**【事業主代表】**

「ドラめしプロジェクト」は報道で見えていて、非常に面白い取り組みだと感じた。今後、販売されてから実際に効果があらわれるまで時間がかかると思われるが、メタボ改善に向けて今後も取り組んでいただきたい。

**【事務局】**

「ドラめしプロジェクト」は県内のトラックステーション内の食堂での販売に向けて準備を進めているところであり、販売に向けて様々な課題はあるが、継続して取り組んでいきたい。

【事業主代表】

健康診断の結果、要治療と判断されても医療機関を受診しないような未治療者はどのくらいの割合いるのか。

【事務局】

令和 5 年度健診受診者のうち、25,591 人が受診勧奨通知基準値該当者数であり、そのうち 17,123 人が 10 か月以内に受診していないことから、約 67%が医療機関を受診していない計算となる。

【被保険者代表】

健診結果で要治療と判定されたにも関わらず、何年も病院を受診しない職員が一定数おり、放置して大きな病気につながったケースが実際にあった。1 人 1 人が健康を意識した行動をとることが必要で、事業所でも重症化する前に医療機関を受診するよう働きかけを行っているが、保険者からも効果的な受診勧奨を含めた重症化予防が必要と考える。

【事務局】

保険料率と保健事業は連動しており、保健事業をしっかりと行えば医療費が下がり、医療費が下がれば保険料率が下がるという相関関係にあるため、効果的な取り組みを進めてまいりたい。

【被保険者代表】

「ドラめしプロジェクト」は大学の学生も巻き込んだ素晴らしい取り組みだと思う。ぜひ、若い人たちのアイデアも生かしながら、事業を進めていただきたい。

【事務局】

「ドラめしプロジェクト」の試食会を 9 月 8 日に行い、様々な報道機関からの取材を受けたところである。結果が出るところまで事業を進めるとともに、事業の良いところを積極的にアピールしていきたい。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 特 | 記 | 事 | 項 |
|---|---|---|---|

- ・傍聴人：なし。
- ・次回は令和 8 年 1 月開催予定。